

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

教育学(教職教育)専攻プログラム

履修のしかた

- 1年次は基礎・入門カテゴリーの「教育学概論」、「教育思想」、「日本国憲法」、「教職入門」などの基礎科目を履修する。この時期は、様々な生じる社会事象や教育事象に興味と関心を持って学生生活を送るという姿勢が大切。2年次では、理論、トピックスのカテゴリーから履修する。

他の専攻プログラムとの関係

- 現代社会の急速な変化に伴い、教育学と他の専攻領域との関係も必要で不可欠なものとなってきた。心理学専攻のみならず、社会学、国際協力、国際関係、環境学などの専攻プログラムからも積極的に科目を選択して履修することが望ましい。
- 心理学専攻プログラム、国際協力専攻プログラム、国際関係専攻プログラムなどが考えられる。
- 科目については特に限定しないので、学生は自身の興味・関心をもとに、例えば上記の領域の科目から関係性を探って選択していくとよい。

留学・教職その他

- 留学したい学生は、まず、朝、昼、晩と勉強して授業についていき、そのうえで学ぶ言語と文化を理解してくる、という姿勢を持って出ること。
- 教職を考えている学生は、教育学専攻プログラムを履修しても教員免許にはつながらないので、他の専攻プログラム履修者と同様、「教職課程」を履修しなければならない。教職課程履修者は、自身の希望する専門教科を1年次から決めて、その専門教科の力をつけるように計画すること。必ず教職に就くという強い決意を持って、学習を継続する。

学生へのメッセージ

- 私たちの目の前に展開する社会現象は、もともとは一人ひとりの人間が考えて、そのことに意味がある、と判断して行動されたことの積み重ねです。私たちもこの社会の構成員の一員として存在し、自分で考え、あることに意味を見出し、そして、そのことを行動に移したりします。これらのことは全てこの私たちの住む人間社会の中で起こっていることですから、その構成員としては、直接的にも間接的にもお互いに関係し合っているということになります。みなさんは大学で学び、社会の中で自己実現を目指そうとしています。この社会の一員であるという自覚を持ち、様々な生じる出来事の解明と解決に取り組む姿勢を身につけてください。良い学びとなることを期待します。
- * 教育学専攻の学生：大量に読み、考え、そして書く、という学習姿勢が要求されます。授業には真剣に取り組むことが大切です。シラバスで授業のテーマを確認し、事前にそのことについて調べ、自分の考えをまとめて授業に臨むようにしてください。
 - * 教職志望の学生：それぞれの専攻プログラムを取り、さらに「教職課程」を履修して教職に就くことを計画している学生は、日頃の学習に対する積極的な姿勢が必要です。すなわち、遅刻や欠席などをしないこと、GPA 3.0 以上を目指すこと、学級の中で指導できるだけの専門教科の力をつけることが大切です。また、専門教科の科目をできるだけ多く履修し、専門性を深めてください。教員免許更新制が導入されたことから、これからは教員免許状に有効期限が明記されます。

教育学(教職教育)専攻プログラム

1 学校教育支援活動 履修モデル

本履修モデルは、地域において小・中学校、高等学校、特別支援学校などと連携して環境や人権、平和などの地球的課題に対して、将来を担う子供たちのための教育を提案できる土台となる資質を身につけることを目指します。

教育という働きが人間と人間社会にどのように関係し、作用しているかを学ぶことを基本とします。教育の本質、教育制度、内容、方法、教育史、比較・国際教育などのほかに、社会学、文化人類学などの知見を得て、例えば、NPOなどの組織を通して人間社会の発展に貢献しようとするものです。

教育学(教職教育)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎・入門	○	EDU1000L	教育学概論	2	○	EDU2010L	教育思想	2								
	○	EDU1030Q	教職入門	2												
	○	LAW1020L	日本国憲法	2												
理論					○	EDU2011L	教育哲学	2		EDU3310L	比較教育学	2				
					○	EDU2310L	西洋教育史	2		EDU3340L	道徳教育論	2				
					○	EDU2311L	日本教育史	2		EDU3342L	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2				
					○	EDU2300L	教育原理(教職課程)	2		EDU3320L	教育方法論	2				
						PSY2220L	教育心理学(教職課程)	2		EDU3321L	生徒指導論(生徒理解と教育相談)	2				
					○	EDU2390L	教育制度論	2		EDU3322L	進路指導論	2				
						EDU2340L	教育課程論	2		PSY3140L	家族心理学	2				
						PSY2131L	学習・言語心理学	2								
トピックス						PSY2120L	生涯発達心理学	2								
					○	EDU2360L	生涯学習概論	2								
						CHR2340L	キリスト教と教育	2		REL3340L	宗教と教育	2				
						EDU2080L	家庭と教育	2		EDU3311L	現代アジアの教育と文化	2				
									LIS3200L	読書と豊かな人間性	2					
									LIS3270L	情報メディアの活用	2					

その他の推奨科目※〔〕内は単位数

- ・文化人類学〔4〕
- ・エネルギーと環境〔2〕
- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕

教育学(教職教育)専攻プログラム

2 教育開発援助 履修モデル

本履修モデルは、日本が世界の一員としてアジア・アフリカを中心とする発展途上国の教育開発を支援するための土台となる力を身につけることを目指します。将来は、民間の教育団体、NGOや国際機関などをその活動の場として広く人類の発展に貢献できる人材となることを期待します。

教育という働きが人間と人間社会にどのように関係し、作用しているかを学ぶことを基本とします。教育の本質、教育制度、内容、方法、教育思想、比較・国際教育などのほかに、NGO論、国際協力論などを学んで世界の人間社会の維持・発展に寄与する準備をするものです。

教育学(教職教育)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎・入門	○	EDU1000L	教育学概論	2	○	EDU2010L	教育思想	2								
	○	EDU1030Q	教職入門	2												
	○	LAW1020L	日本国憲法	2												
理論					○	EDU2011L	教育哲学	2	○	EDU3310L	比較教育学	2				
					○	EDU2310L	西洋教育史	2		EDU3340L	道徳教育論	2				
					○	EDU2311L	日本教育史	2		EDU3342L	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2				
					○	EDU2300L	教育原理(教職課程)	2		EDU3320L	教育方法論	2				
						PSY2220L	教育心理学(教職課程)	2		EDU3321L	生徒指導論(生徒理解と教育相談)	2				
						EDU2390L	教育制度論	2		EDU3322L	進路指導論	2				
						EDU2340L	教育課程論	2		PSY3140L	家族心理学	2				
						PSY2131L	学習・言語心理学	2								
						PSY2120L	生涯発達心理学	2								
トピックス						EDU2360L	生涯学習概論	2								
						CHR2340L	キリスト教と教育	2		REL3340L	宗教と教育	2				
						EDU2080L	家庭と教育	2	○	EDU3311L	現代アジアの教育と文化	2				
									LIS3200L	読書と豊かな人間性	2					
									LIS3270L	情報メディアの活用	2					

その他の推奨科目※〔〕内は単位数

- ・国際協力入門(NGO論)[4]
- ・国際協力論[4]
- ・専攻演習Ⅰ[2]
- ・専攻演習Ⅱ[2]

『リベラルアーツ学群専攻プログラム履修モデル集』について

リベラルアーツ学群では、2年次春学期から、専門科目の履修が本格的に始まります。この冊子は、みなさんが専門科目の履修を行っていくためのガイドとして編集したものです。

この冊子は、各専攻プログラムの「履修の手引き」と「履修モデル」から構成されています。

●履修の手引き

- ・「履修の手引き」には、各専攻プログラムから履修のしかたについてのメッセージが載せられています。ある程度自分の志望する専攻プログラムが絞れている人は、それらのメッセージを参考にして履修を行って下さい。
- ・とくに、専攻プログラムのカリキュラム構成が「積み上げ型」か「自由履修型」かで、1・2年次の望ましい履修のあり方が違ってきますので、その点を注意するようにして下さい。

●履修モデル

- ・「履修モデル」とは、各専攻プログラムの科目をどのように履修していったらよいかを、例として示したものです。各専攻プログラムを修了するためには32～36単位の科目を修得することが必要ですが、どの専攻プログラムも、それをほかに上回る数の科目を準備しており、みなさんが、その専門分野の中でさらにテーマを絞った履修ができるようになっています。「履修モデル」とは、そうしたモデル・カリキュラムの例を示したものです。
- ・各専攻プログラムの「履修モデル」ページには、その専攻プログラムの全科目をカテゴリーとレベルに応じて分類表示したマトリックスを記載しています。その中で「◎」のついている科目はメジャーの必修科目（教職モデルの場合は、教科に関する科目の必修科目）です。また、「○」のついている科目は、その履修モデルに該当する推奨科目です。
- ・また、「その他の推奨科目」には、その専攻プログラム科目以外のお勧めの科目を記載してあります。
- ・リベラルアーツ学群には、33の専攻プログラム、およびマイナープログラムがありますが、この冊子には、各専攻プログラムから提示された「履修モデル」が掲載されています。自分の関心ある専攻プログラムの「履修モデル」をよく読んで、科目履修の参考にして下さい。

この『履修モデル集』は、みなさんが自分の学習計画を立てる際の目安として作成したものであり、このように履修することを義務付けているわけではまったくありません。むしろ私たちは、みなさんが、Independent Learnerとして、自分の関心と視点に立って、独自の「履修モデル」を作成することを期待しています。

リベラルアーツ学群の科目編成はきわめて自由であり、内容を絞る、いろいろな分野を組み合わせる、その専門分野のさわりを学ぶ、など、さまざまな組み立て方が可能です。ぜひみなさんも、独自のテーマ性をもって自分の学習に取り組んでいって下さい。そして、「履修モデル」を通じたリベラルアーツ学群ならではの新しい学びの世界を、ともに切り開いて行きましょう。

教育学(教職教育)専攻プログラム

履修のしかた

- 1年次は基礎・入門カテゴリーの「教育学概論」、「教育思想」、「日本国憲法」、「教職入門」などの基礎科目を履修する。この時期は、様々に生じる社会事象や教育事象に興味と関心を持って学生生活を送るという姿勢が大切。2年次では、理論、トピックスのカテゴリーから履修する。

他の専攻プログラムとの関係

- 現代社会の急速な変化に伴い、教育学と他の専攻領域との関係も必要で不可欠なものとなってきた。心理学専攻のみならず、社会学、国際協力、国際関係、環境学などの専攻プログラムからも積極的に科目を選択して履修することが望ましい。
- 心理学専攻プログラム、国際協力専攻プログラム、国際関係専攻プログラムなどが考えられる。
- 科目については特に限定しないので、学生は自身の興味・関心をもとに、例えば上記の領域の科目から関係性を探って選択していくとよい。

留学・教職その他

- 留学したい学生は、まず、朝、昼、晩と勉強して授業についていき、そのうえで学ぶ言語と文化を理解してくる、という姿勢を持って出ること。
- 教職を考えている学生は、教育学専攻プログラムを履修しても教員免許にはつながらないので、他の専攻プログラム履修者と同様、「教職課程」を履修しなければならない。教職課程履修者は、自身の希望する専門教科を1年次から決めて、その専門教科の力をつけるように計画すること。必ず教職に就くという強い決意を持って、学習を継続する。

学生へのメッセージ

- 私たちの目の前に展開する社会現象は、もともとは一人ひとりの人間が考えて、そのことに意味がある、と判断して行動されたことの積み重ねです。私たちもこの社会の構成員の一員として存在し、自分で考え、あることに意味を見出し、そして、そのことを行動に移したりします。これらのことは全てこの私たちの住む人間社会の中で起こっていることですから、その構成員としては、直接的にも間接的にもお互いに関係し合っているということになります。みなさんは大学で学び、社会の中で自己実現を目指そうとしています。この社会の一員であるという自覚を持ち、様々に生じる出来事の解明と解決に取り組む姿勢を身につけてください。良い学びとなることを期待します。
- * 教育学専攻の学生：大量に読み、考え、そして書く、という学習姿勢が要求されます。授業には真剣に取り組むことが大切です。シラバスで授業のテーマを確認し、事前にそのことについて調べ、自分の考えをまとめて授業に臨むようにしてください。
 - * 教職志望の学生：それぞれの専攻プログラムを取り、さらに「教職課程」を履修して教職に就くことを計画している学生は、日頃の学習に対する積極的な姿勢が必要です。すなわち、遅刻や欠席などをしないこと、GPA 3.0 以上を目指すこと、学級の中で指導できるだけの専門教科の力をつけることが大切です。また、専門教科の科目をできるだけ多く履修し、専門性を深めてください。教員免許更新制が導入されたことから、これからは教員免許状に有効期限が明記されます。

教育学(教職教育)専攻プログラム

1 学校教育支援活動 履修モデル

本履修モデルは、地域において小・中学校、高等学校、特別支援学校などと連携して環境や人権、平和などの地球的課題に対して、将来を担う子供たちのための教育を提案できる土台となる資質を身につけることを目指します。

教育という働きが人間と人間社会にどのように関係し、作用しているかを学ぶことを基本とします。教育の本質、教育制度、内容、方法、教育史、比較・国際教育などのほかに、社会学、文化人類学などの知見を得て、例えば、NPOなどの組織を通して人間社会の発展に貢献しようとするものです。

教育学(教職教育)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎・入門	○	EDU1000L	教育学概論	2	○	EDU2010L	教育思想	2								
	○	EDU1030Q	教職入門	2												
	○	LAW1020L	日本国憲法	2												
理論					○	EDU2011L	教育哲学	2		EDU3310L	比較教育学	2				
					○	EDU2310L	西洋教育史	2		EDU3340L	道徳教育論	2				
					○	EDU2311L	日本教育史	2		EDU3341L	特別活動論	2				
					○	EDU2300L	教育原理(教職課程)	2		EDU3320L	教育方法論	2				
						PSY2220L	教育心理学(教職課程)	2		EDU3321L	生徒指導論(生徒理解と教育相談)	2				
						EDU2390L	教育制度論	2		EDU3322L	進路指導論	2				
						EDU2340L	教育課程論	2		PSY3140L	家族心理学	2				
						PSY2131L	学習・言語心理学	2								
						PSY2120L	生涯発達心理学	2								
トピックス						EDU2360L	生涯学習概論	2								
						CHR2340L	キリスト教と教育	2		REL3340L	宗教と教育	2				
						EDU2080L	家庭と教育	2		EDU3311L	現代アジアの教育と文化	2				
									LIS3200L	読書と豊かな人間性	2					
									LIS3270L	情報メディアの活用	2					

その他の推奨科目※〔〕内は単位数

- ・文化人類学〔4〕
- ・エネルギーと環境〔2〕
- ・専攻演習Ⅰ〔2〕
- ・専攻演習Ⅱ〔2〕

教育学(教職教育)専攻プログラム

2 教育開発援助 履修モデル

本履修モデルは、日本が世界の一員としてアジア・アフリカを中心とする発展途上国の教育開発を支援するための土台となる力を身につけることを目指します。将来は、民間の教育団体、NGOや国際機関などをその活動の場として広く人類の発展に貢献できる人材となることを期待します。

教育という働きが人間と人間社会にどのように関係し、作用しているかを学ぶことを基本とします。教育の本質、教育制度、内容、方法、教育思想、比較・国際教育などのほかに、NGO論、国際協力論などを学んで世界の人間社会の維持・発展に寄与する準備をするものです。

教育学(教職教育)専攻プログラム科目

level カテゴリ	1000				2000				3000				4000			
	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位	推奨	科目コード	科目名	単位
基礎・入門	○	EDU1000L	教育学概論	2	○	EDU2010L	教育思想	2								
	○	EDU1030Q	教職入門	2												
	○	LAW1020L	日本国憲法	2												
理論					○	EDU2011L	教育哲学	2		EDU3310L	比較教育学	2				
					○	EDU2310L	西洋教育史	2		EDU3340L	道徳教育論	2				
					○	EDU2311L	日本教育史	2		EDU3341L	特別活動論	2				
					○	EDU2300L	教育原理(教職課程)	2		EDU3320L	教育方法論	2				
						PSY2220L	教育心理学(教職課程)	2		EDU3321L	生徒指導論(生徒理解と教育相談)	2				
						EDU2390L	教育制度論	2		EDU3322L	進路指導論	2				
						EDU2340L	教育課程論	2		PSY3140L	家族心理学	2				
						PSY2131L	学習・言語心理学	2								
						PSY2120L	生涯発達心理学	2								
トピックス						EDU2360L	生涯学習概論	2								
						CHR2340L	キリスト教と教育	2		REL3340L	宗教と教育	2				
						EDU2080L	家庭と教育	2		EDU3311L	現代アジアの教育と文化	2				
										LIS3200L	読書と豊かな人間性	2				
									LIS3270L	情報メディアの活用	2					

その他の推奨科目※〔〕内は単位数

- ・国際協力入門(NGO論)[4]
- ・国際協力論[4]
- ・専攻演習Ⅰ[2]
- ・専攻演習Ⅱ[2]